



第 364 号 平成 20 年 11 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 長 村 吉 朗

## 教員免許更新制について

会 長 長 村 吉 朗

平成 19 年 6 月に教育職員免許法が改正され、平成 21 年 4 月 1 日より教員免許更新制が導入されることとなりました。子ども学校医にとっては対岸の火事と言う見方も出来るのですが、学校では今多くの先生方がそのことに注意が行っているというか、おもしろくない気持ちがしているというか、その関心が大きいのではないのでしょうか。学校医としてもその制度をごく簡単に知っておく必要があるのではないかと思ひ、少し調べましたので、かいつまんで報告いたします。

まず初めには気休めというか、「更新の目的は教員としての必要な最新の知識を身につけることであり、不適格教員を排除する目的ではありません」とあります。そして平成 21 年 4 月 1 日以降に授与される教員免許状には 10 年間の有効期限がついて来ることとなります。それ以前に交付された免許の関しても同様の仕組みが導入されます。そしてこの免許の更新には、更新時の 2 年前から最低 30 時間の更新講

習（最新の教育事情に関する事項 12 時間 + 教科や生徒指導等教育内容に関する事項 18 時間）の受講・終了が必要となります。色々読んで中では、終了にあたって試験を受けるなどの知識の習得の確認はないようです。そしてその対象者ですが、終了確認時限（初回は平成 23 年 3 月 31 日）に満 35 歳、45 歳、55 歳となる先生方が対象となります。つまりその時点で 56 歳以上（今の年齢で考えると 54 歳でしょうか）の人は対象とならず、更新の必要がなく、免許状は終身有効となります。さらに更新の免除者があります。教員を指導する立場にある者（管理職、指導主事、更新講習の講師など）はもちろん、その他に優秀教員表彰者は 1 回だけ免除の対象となります。更新講習は主に大学で受けることとなるようですが、一部の大学や国立政策研究所、独立行政法人研修センターでは既に始まっています。

この制度が、現状でも十分忙しい教職員の足を引っ張らないことをせつに祈るものです。

## 思春期・青年期精神保健ケースマネジメント事業

### 平成 20 年度第 1 回運営検討会議に出席して

京都市立西京高等学校医 杉 本 英 造

平成 18 年 10 月より精神衛生研究会では学習障害・注意欠陥多動性障害・高機能自閉症等で悩む児童生徒・保護者・学校関係者に対し、医学的見地からの助言、関係機関を紹介する「心の相談事業・ワンポイント相談」を毎月第 4 木曜日に、こどもみらい館にて行っております。月に 1～2 例ではありますが

2 年が経ち約 30 例の相談件数を経験いたしました。現在、児童相談所の待機時間が約 1 年とのことで、悩んでおられる方の少しでもお役に立てればと願っています。

思春期・青年期精神保健ケースマネジメント事業は京都市こころの健康増進センター（山下俊幸所

長)が主体となり以下の関連機関が出席し、最近あった事例について症例検討会の形式で行われています。

出席者は、関係機関・団体：京都市学校医会・京都大学精神科・京都市家庭裁判所・京都少年鑑別所・京都ダルク・京都市ユースサービス協会・京都府警察本部少年課・NPO法人オレンジの会・京都マック。行政機関：左京保健所・京都市立病院・児童福祉センター・教育委員会体育健康教育室および生徒指導課・文化市民局勤労福祉青少年課・こころの健康増進センターからの代表者でした。

今回の事例は、薬物依存症例(大麻)の現病歴から更生過程・現状につき、NPO法人京都マックより紹介されました。京都マックはアルコール・薬物・ギャンブル依存症に対し、グループホームを運営している組織です。薬物依存、リстокットなどを経て京都マックに入所し、自らを語るようになり薬物を断ち切っていく過程が紹介された後、上記の出

席者が意見を交換しあいました。小生はただただ驚き、感動して聞いているばかりで意見を求められなくても、経験不足でとても口をはさめる状況ではありませんでした。学校医として、医師として汗顔の至りです。ここで出された意見の中で、薬物依存になる要素に「心を開いて語れない環境因子」があげられ印象的でした。京都マックに入所し、初めて人と向かい合って語れるようになり薬物から離脱可能となったようです。もちろん京都マック以外の上記関係機関の連携・協力があつたことを付記します。

最近、大学生による大麻事件の報道が相次ぎます。薬物汚染は身近な所にせまってきており、特別な環境で発生しているわけではありません。リстокット・摂食障害・性感染症等はこれまで養護教諭から相談を受けて参りましたが、今後、薬物問題も学校医として考えていかなければならない問題です。

---

## Ⅲ期Ⅳ期MRワクチン接種状況

専務理事 林 鐘 声

京都市教育委員会が行った京都市立中学校・高等学校に在籍する生徒を対象としたⅢ期Ⅳ期MRワクチンの接種率についての9月末の調査では、Ⅲ期39.6%(在籍者10,044人中)Ⅳ期42.5%(在籍者2,045人中)でした。6月末の調査(Ⅲ期23.0%、Ⅳ期19.1%)に続き2回目となります。

6月の中学校の校長会との会合では、中学1年生については7月の三者面談で、高校3年生については進路指導の際にワクチン接種の勧奨をしていく予定となっていたことから、夏休みで接種率の大幅な上昇が見込まれるとの期待が寄せられていました。7月～9月に106人が接種をうけて一気に接種率が60%を越えた学校に代表されるように接種率50%を越える学校ではその期待は少しは実現していたようですが、それ以下の接種率の学校では7月～9月の接種者数は4月～6月の接種者数よりむしろ少ない学校が多く、平均以下の学校では軒並み期待は外れていました。他に中学1年生の在籍者200人を越える17の学校のうち接種率が3.4%、10.9%ととび抜けて低い中学校がありました。教育委員会はその理

由について問い合わせるとともに接種率を上げるように要請するそうです。8月中旬には、京都市からの全対象者に対しての個別通知も届き、ワクチン接種の勧奨は十分に行き渡っていると思います。しかし、接種しましょうだけでは接種に結びつかないことは明らかな結果でした。残る約60%の未接種者に対しては、この制度の始まったことで麻疹の2回接種は社会的趨勢となったことを伝え、今回接種しなくともいずれ接種を求められることも併せて知らせることも必要なことのようにです。学校保健委員会が既に開催された学校ではMRワクチン接種の導入の経緯やその必要性についてPTAや学校関係者に説明した学校医の方も多いと思います。そのような機会のなかった場合には、まず学校長に95%以上の接種率が得られるようにと伝えて下さることを願います。学校長はこどもの頃に麻疹に罹患した世代に属していることから、この接種を逃すと、感染する危険のあること、進路先で改めて接種を求められ、それは自費となってしまう点などに十分に理解が及んでいない場合もあるのではないのでしょうか。生徒

に不利益とならないよう、学校長の強力な指揮が望まれるところです。京都市学校医会としては、今回の調査結果を踏まえて、中学高校の校長会にMRワ

クチン接種率95%を達成することの必要性について改めて申し入れをしたいと考えています。

---

## 京都市学校医会北支部会 2008年

京都市学校医会北支部長 余 昌 英

下記により北支部研修会を開催いたしました。

日 時 10月4日(土) 午後6時  
場 所 ブライトンホテル  
テーマ 「低身長児について」  
講 師 京都第一赤 小児科部長 木崎 善郎

長村会長のご出席を頂き、学校医活動や指定学校医の更新などのお話を頂きました。学校医活動についての理解を深めることが出来ました。

その後、京都第一赤小児科部長の木崎先生から

ご専門の代謝異常に伴う学童の低身長についての自験例を中心にした興味深いお話をお聞きました。

代謝異常による低身長は適切な治療により解決できるが、個性による低身長を何とかして欲しいという両親の希望に悩まされているというお話でした。

学童の100人に2、3人が低身長の範疇にはいるということでした。

当日の参加予定者11名のうち連絡無く欠席1名を除き北支部から10名の参加を頂き有意義な研修会を持つことが出来ました。

---

## 左京支部会開催のご報告

常任理事 井 上 静 子

10月26日(日)、お昼に、会員9名と長村会長を含め10名で、南禅寺「順正」にて開催しました。

支部長の平位副会長ならびに長村会長のご挨拶に続き、福持常任理事から、麻疹についてのお話を伺いました。パソコンから種々の資料を作っていただきました。まず、日本における状況をグラフで、次にアメリカの状況をお聞きました。アメリカは「日本は麻疹の輸出国」揶揄しておりましたが、アメリカでも今年度、麻疹患者が増加しているとのこと。原因はワクチン成分に対するアレルギーあるい

は免疫不全等の医学的理由によるもの以外に宗教や哲学上の理由からワクチン接種を控える子どもがいるとのことで、その子ども達が海外に出かけて、麻疹にかかり、アメリカにウイルスを持ちこんでしまう可能性もあるとのこと。麻疹に関しては、全員の関心も高く、活発な質疑応答がありました。

懇親会は、湯豆腐を含めて次々と運ばれる京風料理をいただきながら、和気藹々と楽しいムードの内に支部会を終わりました。

### 京都府医師会指定学校医制度 単位取得セミナーのお知らせ 府医生涯教育セミナー

第6回テーマ：小児疾患 ～実地医家のために～

と き 平成20年11月29日(土) 午後2時30分～ 午後5時)

と ころ 京都府医師会館 1階101会議室(中京区御前松原下ル)

## 第6回 常任理事会

平成20年11月1日  
於 事務局

出席者 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、  
井上・藤田・竹内・蘆原・井本各常任理事、  
佐野眼科学校医会副会長、星谷・鈴木各耳  
鼻咽喉科専門医会理事

### ・会長挨拶

#### <報告事項>

1. 北支部会 10/4 京都ブライトンホテル  
11名出席 今月号参照
2. 色覚相談 10/7、10/21 各2名(市内)
3. 京都市小学生陸上記録会 10/13 来月号参照
4. 京都市学校保健会 第2回企画委員会 10/14  
11/29の表彰者の確認
5. 京都市学校保健会健康教育シンポジウム打合せ会  
10/14
6. 京都市自治110周年記念式典 10/15  
京都市学校医会、耳鼻咽喉科専門医会に表彰
7. ワンポイント相談 10/23  
小4の男(落ちつきなし、耳からの理解が困難)
8. 左京支部会 10/26 順正 10名参加  
今月号参照
9. 京都市学校保健会健康教育シンポジウム  
10/28 性感染症の講演会、性教育のシンポジウム

#### <協議事項>

1. 平成20年度勇退者の後任について  
3名の後任について検討中
2. Ⅲ期、Ⅳ期MRワクチン接種状況について  
今月号参照 各校の接種率(9月末)を各校医  
へ通知

3. 近畿学校保健学会について 12/20~21  
性教育実践の指導者講習会
4. 保健調査票について 項目について再検討
5. 平成20年度学校保健会表彰式・第44回京都市学  
校保健研究発表会について  
長村、奥村、平位、福持、星谷、鈴木、佐野の出席
6. 第8回常任理事会会場について 1/10  
5:00 pm~ 場所未定
7. その他  
現在、単位不足の校医へ単位取得状況を通知

#### <関連学会・各種協議>

1. 平成20年度社団法人京都府歯科医師会会員大会  
11/1 長村出席
2. 第60回教育功労者表彰式典 11/6
3. 第58回全国学校保健研究大会 11/6 新潟市
4. 第39回全国学校保健・学校医大会 11/8  
新潟市
5. 腎臓相談 11/11 12/2
6. 京都市生涯学習市民フォーラム総会及び講演会  
11/11 シルクホール
7. 京都府麻しん対策会議 11/14 林出席
8. 第55回日本学校保健学会 11/15  
名古屋市 長村 シンポジストとして出席
9. 色覚相談 11/18
10. 第23回京都市小学校「大文字駅伝」大会第2回  
運営企画委員会 11/19
11. ワンポイント相談 11/27
12. 第44回京都市学校保健会研究発表会・表彰式  
11/29 京都ロイヤルホテル&スパ
13. 京都市学校保健会表彰祝賀会・懇親会  
11/29 京都ロイヤルホテル&スパ
14. 第57回近畿医師会連合学校医研究協議会総会  
11/30 烏丸京都ホテル
15. 心臓相談 12/3
16. 第7回常任理事会 12/6 2:00 pm~